

費	途	金	額	財	源	支	出	方	法	備	考
計											

備考

1. 各費途別ニ記載スルコト(例へハ器具費何圓、工費用材

# 奈良縣の道路愛護

料費何圓ノ如シ)

(三) 道路ノ狀況

道路種別	路線名	路面ノ狀況	排水設備ノ狀況	交通障害物整理ノ狀況

## 道路愛護

奈良縣に於ける道路愛護會は、年と共に隆盛に赴き、地

元住民の理解に依り、現在團體數三三一、會員數二八、七

一人作業届出道路延長は、國道及府縣道に涉り、延長一

〇六杆三三四にして、縣下國府縣道總延長の、八割七分に

該當す。

## 愛護作業

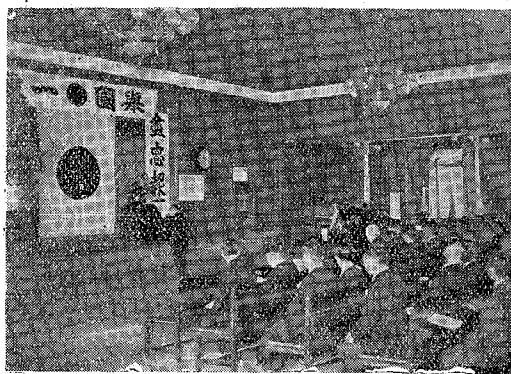
昭和十二年に於ける道路愛護作業は、熱誠なる勞力奉仕

に依り、作業せる團體數一五五、此の道路延長五四六杆一

六六、作業延人員三五、四八九人、一日八時間作業に換算

## 奈良縣廳土木課

すれば人員二一、九四三人にして作業開始せし初年度の昭和九年に比較せば實に二倍七分強となれり、其の作業実績も亦逐年向上し崩土取除、路面の整理耳草劈除、側溝整備



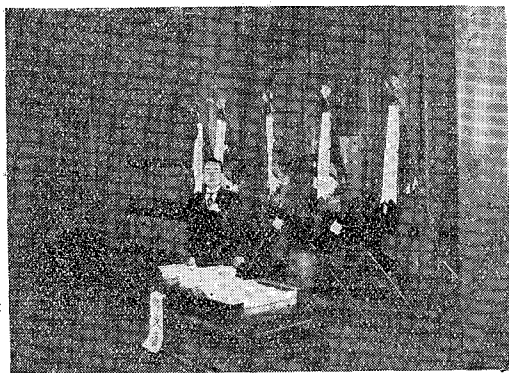
乾經濟部長褒狀授與

等其の効果著しきものあり愛護思想も益々普及徹底し之に呼應して縣下の自動車關係業者より土砂運搬の爲め奉仕提供せる自動車は時局の影響を受け昨年に比し減じたるも

其出役數五〇臺土砂運搬數量五五七立米にして一般地元民も多大の助力を拂ひつつありて本縣道路行政上に貢献する所不尠寔に欣しき次第なり。

表彰

昭和十二年に於ける成績審査の結果優等五團體一等五團體二等二九團體表彰一一六團體にして之が表彰式を去る三月二十六日肇國

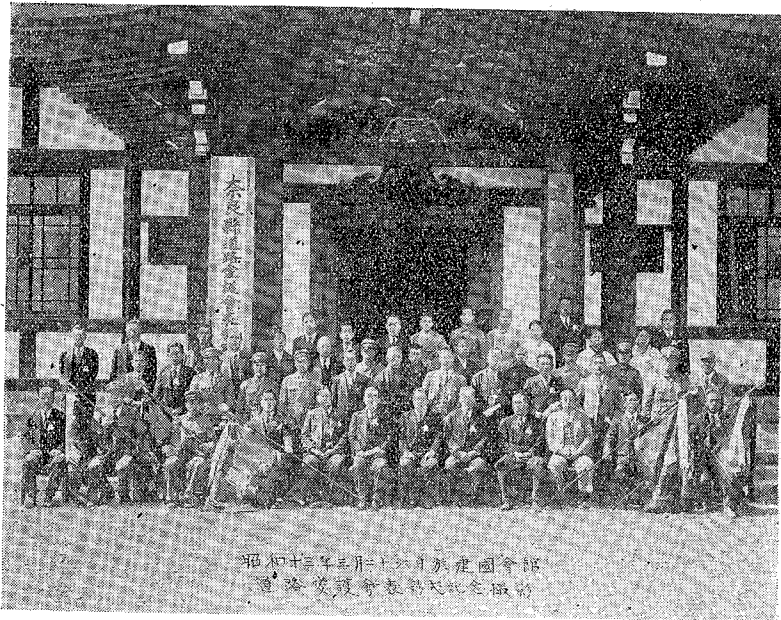


松浦土木課長優等旗及賞金授與

の聖地畝傍山麓建國會館に於て舉行せり、而して優等團體には優等旗を交付すると共に各等に對し夫々賞金を授與せり。尙道路改良會長より表彰せられたる

王寺町道路愛護團に對し表彰狀を傳達す。優等賞

和原村道路愛護會、王寺町道路愛護團、丹生村青年團、白銀村



奉天路愛護會觀禮大會紀念

南部道路愛護團、柳本町青年團

一 等 賞

大日本國防婦人會都跡村分會廣領班、葛村青年團、大日本國防婦人會小川村分會小栗栖支會、宗檜村青年團川岸青年會、多武峰村青年團栗原校區支團

二 等 賞

都介野村第六道路愛護會、龍田町青年團、都介野村第二道路愛護會、都介野村第一道路愛護會、都介野村第三道路愛護會、平和村道路愛護會、都介野村第四道路愛護會、都介野村第五道路愛護會、福住村道路愛護會、今井町道路愛護會、高市村青年團高取町青年團、四鄉村道路愛護團、高見村青年團杉谷支團、室生村道路愛護團、大湊町青年團馬佐支團、龍門村志賀戶主會、宗檜村永谷男女聯合青年會、十津川村風屋戶主會道路愛護團、十津川村中野區道路愛護團、十津川村山崎戶主會、大阿太村青年團佐名傳支部、十津川村野尻戶主會、上之鄉村道路愛護會、田原本町道路愛護團、三輪町道路愛護會、纏向村青年團、多武峰村青年團多武峰校區支團、多武峰村青年團倉橋校區支團

褒 狀 五十三團體

感 狀 六十三團體

告 辭

昭和十三年三月二十六日

本日茲ニ道路愛護會表彰ノ式典ヲ舉行スルコトヲ得タルハ洵ニ欣快トスル所ナリ。

奈良縣知事從四位勳三等 三島 誠也

惟フニ支那事變ハ敵首都南京陥落ト共ニ愈々第二段階ニ

本日茲ニ奈良縣道路愛護會ノ表彰式ヲ舉行セラルルニ當

入り國民ハ更ニ時局ノ認識ヲ新シニ一致協力益々銃後ノ護

リ其ノ成績審査ノ報告ヲ爲スハ誠ニ欣幸トスル所ナリ

ヲ固メ國力ノ充實ヲ計リ堅忍持久萬難ヲ排シ所期ノ目的貫

本縣道路愛護會ハ作業實施以來既ニ四ケ年ヲ闊シ道路愛

徹ニ牢固不拔ノ覺悟ヲ要スルノ秋ニ當リ諸氏ハ平素良ク協

護會ノ組織ヲ有スル町村數既ニ百四十五ニシテ團體數ハ三

同一致道路愛護ノ精神ヲ振作シ自治公共ノ美風ヲ涵養スル

百二十四ニ迫ヒ其會員數ハ實ニ二萬九千八百十八人ヲ算スサ

ト共ニ眞摯熱烈ナル意氣ヲ以テ至難ナル道路ノ維持修理ニ

レハ是等團體ノ愛護維持セムトスル道路延長ハ一千〇六十

協力シ道路交通ノ機能ヲ増進シテ非常時局ニ於ケル産業ノ

七料五三四ニ互リ縣下國道府縣道ノ總延長一千二百二十七

開發文化ノ向上ニ資シ以テ銃後ニ於ケル國力ノ振興ニ寄與

料四七〇ニ比較スルトキ其比率ハ實ニ八十七パーセントノ

貢獻セラレツツアリテ其ノ功績ハ寔ニ多大ナルモノアリ諸

多キニ當ル是等團體ノ作業實績ハ各位ノ道路ニ對スル理解

氏ノ辛酸勞苦ニ對シ深甚ナル敬意ヲ表スルト共ニ尙將來諸

ノ向上ト熱誠ナル勞力ノ奉仕トニ依リ年ト共ニ見ルヘキモ

氏ニ期待スル所一層切ナルモノアルヲ覺ユ翼クハ諸氏ハ今

ノアリ月ト共ニ興隆シテ道路愛護作業ノ成果ハ國內各府縣

日ノ成果ニ安ンスルコトナク益々奮勵努力シ世上ノ龜鑑ト

中屆指ノ内ニ在リ今昭和十二年ニ於ケル是カ成績ヲ審査ス

ナリ衆人ヲ薫化シ相率キテ奉公ノ誠ヲ捧ケ愈々道路愛護ノ

ルニ當リテハ道路愛護獎勵規程取扱手續ニ據リ各土木出張

普及進展ニ邁進セラレムコトヲ一言以テ告辭トス

所長ニ報告ヲ徴シ審査會ニ於テ路面保持、交通障害物整理

出役人員、作業狀況、出役回数其ノ他精神の方面ニ關シ各種ノ考查ヲ重ネタルニ作業團體數百五十五其ノ道路延長五百四十六料一六六作業延人員三萬五千四百八十九人は一八時間作業ニ換算スルトキ二萬一千百七十五人ノ人員ヲ得ル此ノ團體行動施工ハ昭和九年ノ初年度ニ比シ實ニ二倍七分強ニシテ其ノ作業實質モ亦當時ト比較シテ著シク向上シ路面ノ整形、耳草剪除、側溝整備、交通障害物整理等其ノ成績見ルヘキモノアリ。

次ニ道路愛護奉仕自動車ハ現時局ノ反影ヲ受ケテ前年ニ比シ其出役聊カ減少シタリト雖其ノ數ハ五十臺ニ迫ヒ土砂運搬數量ハ實ニ五百五十七立米ノ多キニ昇レリ而シテ優良團體豫選ノ上更ニ實地ヲ踏査シテ以テ慎重審議ノ上茲ニ優等五團體壹等五團體及貳等二十九團體ヲ嚴選シタル次第ナリ。

右優等五團體ノ内第一位ニ位スル王寺町道路愛護團ハ知事ノ申請ニ依リ道路改良會ノ表彰規定ニ照サレ其ノ表彰ノ光榮ニ浴ス是レ此ノ式典ニ一段ノ華ヲ添ヘタルモノト謂フ

ヘシ。

優良各團體ハ數年來ノ努力空シカラス此ノ榮譽ヲ擔ヒタルモノニシテ將來益々道路愛護事業ノ隆盛ニ務メラレ更ニ地方他愛護團ノ師表トシテ道路交通ノ完備ニ盡力サレ地方産業開發ノ爲ニ貢獻セラルルハ勿論一步進シテ此ノ作業ヲ通シ自治公共ノ美風ヲ興隆シ國民精神振作ノ一助ヲラシメラレムコトヲ希望スルモノナリ。

右報告ス

昭和十三年三月二十六日

奈良縣土木課長 松浦 康秋

祝 辭

茲ニ第四回道路愛護會表彰式ヲ舉行セラルルニ際リ一言祝辭ヲ申述ベル機會ヲ得マシタコトハ私ノ最モ欣懷ニ存ズル所デアリマス。

惟フニ道路ノ完否ハ地方産業ノ開發國民文化ノ進展ニ密接ノ關係ガアリマスコトハ今更多言ヲ要セナイトコロデアリマス。從ツテ何レノ地方ト雖モ之ガ施設ノ充實ヲ翹望ス

ルノ念ハ誠ニ熾烈ナルモノガアルノデアリマス。之ヲ以テ國家ハ固ヨリ縣或ハ市町村ニ於テモ毎年莫大ナル經費ヲ投シ銳意之ガ改修又ハ維持管理ニ努力効サレテ居ルノデアリマスガ何分限ラレタル財政ノコトデアリマスノデ其ノ完壁ノ域ニ達スルニハ未ダ尙前途遼遠ノ憾ガアルノデアリマス就キマシテハ地方住民ノ道路ニ對スル奉仕の愛護作業ニ俟タナケレバ到底充分ナル機能ヲ發揮スルコトガ出來ナイトイフ現状デアリマス幸ニモ本縣ニ於キマシテハ道路愛護會ナル團體ガ地方民ノ理解ト當局ノ努力ニ依ツテ既ニ數年前ニ生レタノデアリマシテ本縣道路政策ノ爲誠ニ意ヲ強ウシテ居ツタノデアリマスガ果セルカナ各團體ハ何レモ此ノ公共的專業ノ爲ニ盡瘁セラレ相當ノ成績ヲ擧ガラレタノデアリマスガ特ニ本日表彰セラレマシタ愛護會ハ斷然象ヲ拔キ此ノ奉仕の作業ニ献身の努力ヲ拂ハレタ優良團體デアリマシテ今日ノ榮譽ハ固ヨリ當然ノ成果デアルトイハネバナリマセン茲ニ謹ンデ心カラノ慶祝ノ意ヲ表シ併セテ滿腔ノ感謝ヲ捧ゲタイト思ヒマス。

今ヤ事變ハ愈々第二段階ニ進ミ時局ハ益々多端デアリマシテ官民一致協力銃後各種團體ノ活躍ヲ期待スルコト洵ニ多キモノガアリマス。此ノ時局重大ナル秋ニ於テ榮譽アル選奨ヲ受ケラレマシタ各位ハ今後一層奮勵努力ヲ重ネラレ地方郷黨相率ヒテ益々美風ヲ發揮セラレンコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス一言蕪辭ヲ述ベマシテ祝辭ト致シマス。

昭和十三年三月二十六日

奈良縣會議長 高森榮喜三

祝 辭

維時昭和十三年三月二十六日第四回道路愛護會表彰式ヲ舉行セラルルニ際シ不肖其ノ席末ニ列スル榮ヲ得ルハ誠ニ欣快ニ堪エサル所ナリ惟フニ交通運輸ノ便ヲ開クハ産業ヲ開發シ人文ノ發達ヲ促ス所以ナリ故ニ道路ノ良否ハ其ノ地ノ文野ヲトスルニ足り交通ノ便否ハ地方ノ發達ニ至大ノ關係アリ精神的ナルト物質的ナルヲ問ハズ文化ハ常ニ交通機關ニ依リ促進セラレ世ノ進歩ニ後レサラムト欲セバ交通機

關ノ改良ハソノ最モ急務トスル所ナリ由來舊郡制時代ニ於  
テハ各郡ニ道路愛護會ノ設ケアリテ地方民ノ深キ理解ノ下  
ニ實績大ニ擧ル而シテ遇々郡制廢止ニ至ルヤ忽チ頽廢シ在  
舊願ラレズ然ルニ近時縣當局者ノ劃策指導宜敷ヲ得漸ク道  
路愛護會ノ再興ヲ見ルニ至リ更ニ國民精神總動員ノ實踐ト  
相俟テ一躍治績大イニ擧クルニ至リ本日茲ニ盛大ナル表彰  
式ヲ舉行セラル國家ノ爲慶賀措ク能ハズ惟フニ諸氏ハ或ハ  
教育者トシテ或ハ各種團體代表者トシテ地方民ヲ率ヒ勞苦  
ヲ惜マズ世ノ師表トナリ健全ナル國民善良ナル公民トシテ  
地方町村ニ對シ更ニ國家社會ニ對シ其ノ責務ヲ果シ國家ニ  
貢獻シ眞ニ時變下ニ於ケル國民トシテ間然スル所ナキハ言  
ヲ俟タズ齊シク地方民ノ感激措ク能ハザル所ナリ本日表彰  
ノ榮譽ヲ荷ハル蓋シ偶然ニ非ズ今ヤ時局ハ第二段階梯ニ進  
展シ愈々重大ニシテ堅忍持久時難ノ克服ニ邁進セザルベカ  
ラザル秋諸氏ハ本日ノ光榮ニ安ンスルナク益々自重加餐以  
テ社會公共ノタメ竭サレントヲ聊カ蕪辭ヲ陳ベテ以テ祝  
辭トス

說苑

昭和十三年三月二十六日

奈良縣町村長會長 岩井政三

答辭

聖戰連勝の淺春今日の佳き日をトシ第四回奈良縣道路愛  
護會表彰授與式を舉行せられ多數來賓の來臨を辱ふし御懇  
篤なる長官閣下の御訓示併に來賓各位の御祝詞を賜り小生  
等受賞者の光榮是れに過くるものなし。

抑々交通機關たる道路は普く地方に分布し其利用範圍極  
めて廣汎にして地方産業の開發國民文化の進展に密接の關  
係を有し之か施設の良否こそ民力の消長國運の隆昌に影響  
する所大なりと言ふべく、之れか維持管理に當りては本縣  
當局は元より地元町村も力を竭されつゝありと雖も財政の  
之に伴はず道路の恩澤は主として地元住民の之に浴するこ  
と日常多大なれば先つ地元住民の自治的公共奉仕の精神に  
則り道路の美化維持管理に努むるこそ吾等に與へられたる  
當然の義務なり大日本帝國は今や將に外には皇軍暴支膺懲  
〇師も全支に進められ忠烈無双の將士は偉大なる戰果を收

められ國威を中外に宣揚されつつあり内國民舉國一致國家

總動員の緊張せる精神力を以てし盡忠報國の誠を致せる際

道路愛護の奉任作業たるや最も易々たる集團勤行の作業た

り「美化せよ道路光らせ郷土、良き村に良き道あり」の道

路愛の精神を愈々發揮に務め本日の盛典の光榮と御訓示に

答へんとす。

一言蕪辭を述へて答辭となす。

昭和十三年三月二十六日

受賞者代表

北葛城郡王寺町道路愛護團

## 道路修繕に就いて

與田喜知藏

築設は出来ても其維持管理が完全でないと中々其利用効  
果を擧げる事は困難で道路又然かりである是れには工夫諸  
君の活動を必要とするは勿論の事であるが其工法の適切な  
る事を忘れてはならない。依つて各府縣市町村の當局は其  
指導に口を極めてやかましく云つて居るが中々徹底しない  
就いては固苦しい訓示や説得は抜きにして極く平易に且つ

仕事をする時に凡そ道路修繕に必要な事項を歌に纏り込  
んで面白く歌はしてやらせると云ふ事が一つの方法であり  
又適切と考へたので本市では次の歌を作り工夫は無論の事  
毎日出て来て働らく人夫達にも歌はして知らず知らずの内  
に其の爲す可き正しき事を銘記さして居る勿論道路工夫の  
なす可き事項は列擧すれば山程あるが、又餘り長くなる